

SSH だより

第 12 号

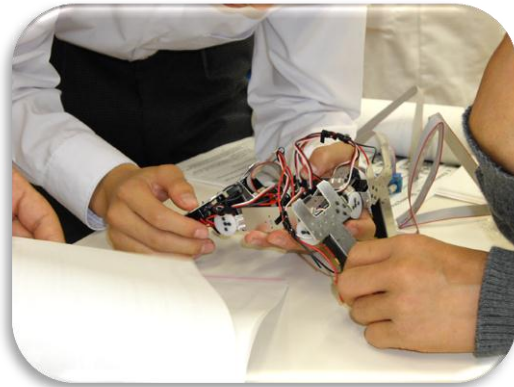
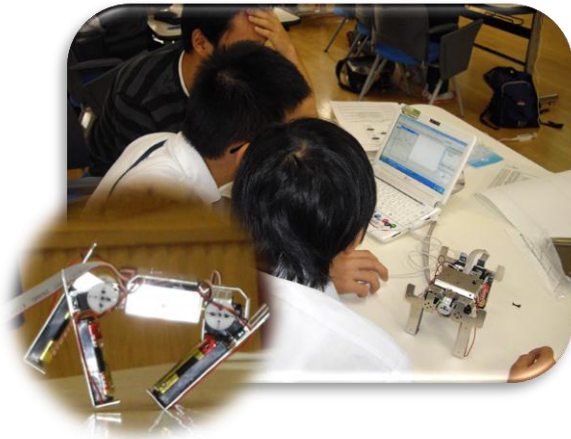
平成 24 年 3 月発行



東京都立小石川中等教育学校

体験授業

10月7日に「Building and Programming Robots」というテーマで英語による理数系授業を行いました。



小石川セミナー

10月15日に武田康男先生に「南極の自然～越冬観測からわかったこと～」というテーマでご講演を頂きました。

武田先生は第50次日本南極地域観測越冬隊員として南極にいかれ、現在は気象予報士、大学非常勤講師、空の写真家としてご活躍されています。



Japan Super Science Fair

11月12日～16日に立命館高等学校の主催で行われた「Japan Super Science Fair」に本校生徒2名が

11月12日、13日の1泊2日で参加し、口頭発表とポスター発表を行いました。

国内のSSH校や、海外の学校の高校生も参加し、発表は全て英語で行われました。



校内発表会

11月19日には「平成23年度 SSH 生徒研究成果発表会」、3月19日には「小石川フィロソフィー発表会」を行いました。

SSH 運営指導委員の先生方や、関係者、保護者の方々もご出席され、ご講評等を頂きました。



SSH 東京都指定校合同発表会

「平成23年度 SSH 東京都指定校合同発表会」が12月23日に早稲田大学理工学術院で行われ、本校の生徒も物理分野で口頭発表を行い、様々な分野でポスター発表を行いました。



サイエンスカフェ

1月18日に NHK エデュケーショナルシニアプロデューサーの村松秀氏を講師としてお招きし、新しいスタイルの科学番組である「サイエンス」の番組の趣旨や制作過程をお話いただきました。



高大連携実習

生物分野で、お茶の水女子大学の先生から直接ご指導を受け、観察や実験、研究を行う実習をお茶の水女子大学の実習室で下記のように行いました。

Aコース

1月4日 9:00~16:00
1月7日 13:00~16:00



理学部 生物学科 千葉 和義 教授



大腸菌への形質導入

β -ガラクトシダーゼと抗生物質であるアンピシリン耐性の遺伝子を持ったプラスミドを使い、大腸菌への形質導入を実験で確かめました。考察の過程で、ポジティブコントロールとネガティブコントロールについても学びました。

Bコース

1月6日 9:00~16:00
1月7日 9:00~12:00



理学部 生物学科 小林 哲幸 教授



アルコール代謝能力の判定

参加者が自分の毛根細胞からDNAを抽出し、そのDNAをPCR法を使って増幅した後、電気泳動で遺伝子のタイプを確認しました。

Cコース

1月21日 9:00~16:00



理学部 化学科 相川 京子 准教授



糖鎖科学入門~レクチンを使った糖鎖実験

糖鎖を認識して結合するレクチンというタンパク質を使い、第三の生命鎖といわれる糖鎖について学びました。

今後の予定

3月18日	校外発表会	「地球と人間」サイエンスフェア
3月27日	校外発表会	第29回化学クラブ研究発表会
3月24日	校外発表会	つくば Science Edge 2012
11月19日	校内発表会	平成23年度SSH生徒研究成果発表会

コア事業の内容を掲載した「コアSSHだより」も発行の予定です。

4月から本校はSSH指定校になってから2年目に入り、平成18年度の指定から数えると7年目になります。

研究開発課題である「科学的思考力、自己学習力、コミュニケーション力を高め、国際社会に活躍するリーダーを育てる教育の研究開発」を目指してより一層取り組んで参ります。

小石川のSSH事業について

母体校・小石川高校は、平成18年から5年間、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されました。平成23年度より引き続いて小石川中等教育学校としてSSHに指定され、平成23年度はコアSSHにも指定されています。

平成23年度からの5年間は、「科学的思考力、自己学習力、コミュニケーション力を高め、国際社会に活躍するリーダーを育てる教育の研究開発」を研究テーマとしてSSH事業に取り組んでいます。

また、コアSSHでは、「国際的視野を持った理数系人材を育てる教育の在り方の研究～サイエンスに関わるグローバル・マインドの育成～」をテーマとして研究を進めています。

SSH事業とは

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業とは、未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして、高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育む取り組みを推進し、大学、研究所、企業との連携を図り、理数系教育の指導方法を研究開発し、政府が提唱する「科学技術創造立国」を実現していくための事業です。